



鈴木 勝彦 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 選挙結果から見えてくる課題は。

答 将来を見据えた、まちの姿をどう描くか、ビジョンを持って進むかであり、市民の暮らしを安定して持続して行くことです。本市

の税収や人口推移を分析して公共施設の老朽化問題に着手し、小学校の建替えに合わせて機能を複合化・集約化し、子どもから高齢者までが地域の活動拠点のモデルとなる高浜小学校等整備事業や勤労青少年ホーム跡地に学校プール機能を有するスポーツ拠点施設の整備など、公共施設対策が見えてきました。

市民の皆様と理解と支援で、力を合わせて前に進むことこそが、未来を切り開く大きな推進力を生み出すと改めて確信しました。将来の予測が極めて難しい時代であるが、厳しい課題に諦めることなく、先延ばしするのではなく、常に未来を見据え、理想のまちづくりに全力で取

り組んでまいります。

また、市民の皆様との対話と協働を進める上で、積極的に情報提供します。まず、10月より市公式ホームページの「市長室へようこそ」をリニューアルして、皆様との会話や情報を発信してまいります。

問 健全財政の確保と進め方は。

答 現在の長期財政計画は、公共施設の機能の複合化による総量圧縮、大規模改修による長寿命化等の削減効果を見込んでおり、個別施設計画等を策定し、公共施設総合管理計画を着実に実行してまいります。

問 未来の子ども達のための考え方は。

答 まちの資源を活かして「高浜カリキュラム」を地域と協働で実践します。ICTを活用した授業や必須化となるプログラム教育を高浜独自の資源を活かし、高浜版プログラム教育を実践して行きます。また、保護者が安心して子どもを産み育てる環境の整備と、行政や地域、保護者の職場となる企業等も積極的に関わり、子育て・子育てを総合的に支援する環境の整備に加え、民間園の設立支援や定員拡大等、待機児童ゼロの実現を目指します。



杉浦 康憲 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 高浜市第6次総合計画後期基本計画の策定状況はどのように行われましたか。

答 計画を作り上げる段階から多くの市民の意見・提案を取り入れ、「みんなで考え、みんなで行動する後期基本計画」となるように策定を進めています。

無作為抽出により選出された16歳以上の市民に集まっていただき「たかはま未来カフェ」を開催し、共に今後の高浜市について考える場を設け、ご意見をいただきました。

問 未来カフェについてですが、新聞社会面に「昼食つきイベント」、「市が市長名招待状」という見出しの記事が掲載されていましたが、どのような目的で行われましたか。

答 後期基本計画の策定にあたり、無作為抽出で選出された市民の方に、前半に「ワールドカフェ」方式、後半に「市民討議会」という住民参加手法を用いて議論し、意見を計画に反映す

ることを目的として開催しました。

問 なぜ昼食つきとしたのですか。

答 当日のコーディネーター伊藤氏と調整した結果、1日かけて議論すること、昼食という時間を参加者で共有することで、より活発な意見交換ができる雰囲気を出そうとする目的です。

なお、今回は参加者実費での提供です。過去には2度、1日の会議に昼食を提供しています。

問 高浜市では広報・HP以外に、どのような広報を考えていますか。

答 フェイスブックやメールマガジンがあります。それぞれに特色があり、強みと弱みがありますが、関心のない方にいくら情報発信をしても情報は届きません。協働のまちづくりを前進させていくために、高浜を担う若者が自分たちの住む地域に関心を持ち、当事者意識の持てるキッカケ創りとしての「わかもの未来会議」を立ち上げていきたいと考えています。

また、「たかはま未来カフェ」のように、市民の方に直接ご意見を伺い、政策を共に考えていただくような手法を用いながら、市の課題や政策を理解した市民を増やしていくことも有効な情報発信であり、今後検討してまいります。